

★ 中学部 職業・社会体験 ★

中学部では、2・3年生を対象に、7月3日～7月17日までの間の1日を体験日として職業・社会体験を行いました。

体験を通して卒業後の生活をイメージしたり、生活習慣、健康管理、マナー等、社会生活で必要な力について考え、今後の生活に生かしたりしていくことを目標に実施しました。

体験先を決めるまでの手順や体験の様子を御紹介します！

① 本人、保護者が、福祉事業所一覧や進路マップを参考に事業所を選んでいく。
(必要に応じて、教員にも相談をしながら体験してみたい事業所を選ぶ。)

② 学校から体験希望先に連絡をし、日時の調整をする。

③ 授業の中で、生徒と一緒に事前学習を行う。

④ 体験当日は保護者が送迎をし、教員が付き添って体験を行う。

※事業所や生徒によっては、保護者の付き添いが必要な場合もある。

※付き添いがない場合でも、保護者も一部分見学をする。

※医療的ケアが必要な生徒は保護者が医療的ケアの部分を担う。

⑤ 生徒と教員で、学校で振り返りをする。

※保護者とも個別面談で情報共有をし、今後の生活や進路を考える際の手掛かりとして生かしていけるようにする。

今年度は、生活介護事業所で1人、就労継続支援B型事業所で8人が体験をしました。生活介護事業所では、個々に合った活動をしたり、職員や利用者の方と一緒にレクリエーションや制作活動を行ったりしました。就労継続支援B型事業所では、就労について職員の方と話をしたり、事業所で行っている作業を体験したりしました。

どの生徒も、普段とは違った環境の中、いろいろなことを感じ取りながら1日体験を行いました。



★高等部 産業現場等における実習と進路学習 ★

高等部では、1年生で1回（11月）、2年生で2回（6月、11月）、3年生で1回（6月）、産業現場等における実習を行います。

6月は、2年生と3年生が事業所で5日間（実習先によって日数が変わる場合があります）の実習を、1年生は校内で進路学習と校内実習を行いました。**産業現場等における実習は、進路指導の中核をなす学習であり、進路決定に大きな意味を持ちます。**

＜実習前後の学習の様子＞

学習内容	取り組みの様子
実習ガイダンス	実習の目的、予定、実習先の確認をし、実習の目標を決定します。 実習先打合せ当日の動きや進め方を確認し、実習日誌を作成します。
実習先打合せ	生徒本人と保護者、担任で実習先を訪問します。 実習目標を伝えたり、実習の日程や持ち物等を確認したりしました。
プレ実習 （5日間） 1年生：進路学習	実習先に応じたグループで、実習を想定した活動に取り組みました。 A グループ：作業 パソコン業務（事業所とのリモート） B グループ：作業、制作、レクリエーション C グループ：制作、レクリエーション  
実習出発式	実習に向けての決意を發表し合い、実習に対する気持ちを高めました。 1年生は、学年の進路学習を振り返りながら先輩の決意を熱心に聞いていました。
産業現場等における実習 （1～5日間） 1年生：校内実習	普段と違う環境の中で、自身の目標や夢に向かってチャレンジしました。実習最終日は、生徒本人、保護者、担任と実習先の担当者の方で、反省会を行います。実習先から、実習の評価や今後のアドバイスをいただきました。いただいたアドバイスは、今後の生活や目標を考える上でのヒントとなり、次のステップに繋がっていきます。  
実習報告会	実習を振り返り、実習先、実習内容、実習を通して学んだこと、目標に対する成果と課題を發表しました。「どんなことに気を付けて業務しましたか。」という質問に、「分からないときは、担当者に聞くことです。」などといった質疑応答も行われました。全校保護者の希望者にも参加いただき、高等部の進路学習について知っていただく機会となりました。 